

CLOMA フォーラム・マッチングセッション開催報告

- 開催概要

本年5月に策定した「CLOMA ビジョン」について、会員のみならず非会員の参加者にも広く理解を深めていただくとともに、海洋プラスチックごみ問題に関する注目すべきテーマについてパネルディスカッションや情報交換を行うことで、CLOMA 活動を更に推進すべく CLOMA フォーラムを開催した。

CLOMA フォーラム終了後には、今後策定する CLOMA アクションプランの議論をリードしていく企業同士のマッチングセッションも実施した。

- 開催日時

2019年7月8日（月）

15:30-17:45 [CLOMA フォーラム], 17:55-18:45 [マッチングセッション]

- 開催場所：東京都内

- 参加者数：約350名（事務局、省庁関係者含む）

- 結果

1企業・団体からの参加者を1名に限定したにも係わらず、定員（300名）を上回る応募があり、大変盛況で海洋プラスチックごみ問題についての関心の高さが伺われた（CLOMA 会員以外も100名が参加）。冒頭の澤田会長のご挨拶では、海洋プラスチックごみ問題解決に向けた企業連携の重要性が語られ、その後実施したパネルディスカッションでは、各社の3Rに関する取組やプラスチックの代替素材の開発について紹介や、CLOMA への期待が述べられた。また、日本政策投資銀行から「ESG 投資における海洋プラスチック問題について」と題するご講演もいただいた。

CLOMA フォーラム終了後には、CLOMA ビジョンに掲げる5つのKey actionの推進に向けたマッチングセッション（パネラー企業とそれぞれのKey actionに関心のある参加者との会合）も行われ、活発な意見交換が展開された。引き続き多数の来場者が参加し、予定時間を大幅に超過する活発な質疑応答、意見交換が交わされた。

マスメディアも多数参加し、同日夜のワールドビジネスサテライト（テレビ東京系）では、CLOMA フォーラムの様子が放映された。



澤田 CLOMA 会長ご挨拶



講演風景（CLOMA ビジョンについて）



パネルディスカッション風景



マッチングセッション風景



CLOMA フォーラム

日時:2019年7月8日(月)15:30~17:30

場所:経済産業省 本館地下2階 講堂

【プログラム】

15:30~

1. 開会の辞

花王株式会社 代表取締役 社長執行役員 澤田 道隆 (CLOMA 会長)

2. 来賓挨拶

経済産業省 産業技術環境局 局長 飯田 祐二

3. 講演①「CLOMA ビジョンについて」(20分)

株式会社三菱ケミカルホールディングス

代表執行役専務 大久保 和行 (CLOMA 技術部会長)

経営戦略部門 KAITEKI 推進室 グループマネジャー 奥村 淳

4. 講演②「ESG 投資における海洋プラスチック問題について」(20分)

株式会社日本政策投資銀行 産業調査部 副調査役 福井 美悠

<休憩> (7分)

16:25~

5. パネルディスカッション (合計 60分)

◆テーマ1:3Rの深化 (30分)

[パネラー]

・サントリー-MONOUZUKURI エキスパート株式会社

SCM 本部包材部チーフエキスパート 高田 宗彦

・花王株式会社 ESG 部門 柳田 康一

・株式会社エフピコ 常務取締役 西村 公子

・大日本印刷株式会社 包装事業部 柴田 あゆみ

・積水化学工業株式会社 ESG 経営推進部 担当部長 三浦 仁美

◆テーマ2:代替素材の開発・利用 (30分)

[パネラー]

・株式会社カネカ 新規事業開発部 幹部職 池奥 史朗

・日本製紙株式会社 取締役執行役員 今野 武夫

・凸版印刷株式会社 常務執行役員 岩瀬 浩

・日清食品ホールディングス株式会社 常務執行役員 田中 充

・株式会社セブン&アイ・ホールディングス 執行役員 釣流 まゆみ

6. 閉会の辞

一般社団法人産業環境管理協会 専務理事 黒岩 進 (CLOMA 事務局長)

(閉会後に、同会場にてマッチングセッションを実施)

7. マッチングセッション(17:30過ぎから実施)

同会場に設置しました5つのブースにおいて、本日パネルディスカッションに登壇いただいた企業等と意見交換会を実施します。また、今後策定していくCLOMAアクションプランについての説明も実施いたします。

マッチングセッションは、①17:35～17:50、②17:55～18:10、の入れ替え制で行いますので、CLOMA事務局の誘導に従って、関心のあるブースにおいて下さい。

<設置ブース>

- ブース1 「プラスチック使用量削減」(花王)
- ブース2 「マテリアルリサイクル率の向上」(サントリー、エプコ、大日本印刷)
- ブース3 「ケミカルリサイクル技術の開発・社会実装」(積水化学工業)
- ブース4 「生分解性プラスチックの開発・利用」(カネカ、三菱ケミカルHD、セブン&アイ・ホールディングス、日清食品ホールディングス)
- ブース5 「紙・セルロース素材の開発・利用」(日本製紙、凸版印刷)

【会場内見取り図】

